

夢窓幼稚園通信第1号

2020年 4月 2日

桜を こんなにも 美しい と思ったことはありません。
静かな しずかな 満開の さくら日の夜中、もう
どうしても、春の いのちの 象徴である 桜の精霊が
花の下で 輪舞している ような 気がして なりました。
強い雨と風があつて いくらか 舞い散った花びらがあるものの、翌朝も見事な咲きぶりに 変わりはなく
ほっと です。

「なかよし」(特別預り保育)で やつてきた 何人かの
子どもたちが、早速 桜の下で 遊び出します。走り
出します。

地面に 落ちた花びらを いっぱい 集めては、空に
向かって 手の平を 解き放ちます。

夜の桜の精さながらです。

なるほど、実際 子どもたちは、妖精なのですね。

子どもたちが 新しいおひさまの下、桜に見守られ
手脚のびやかに 遊ぶ姿は 聖霊の舞踏、妖精の
輪舞なのだと思います。

2月頃から 日本でも 拡大を見せている 新型コロナウイルスに
対して、心配は 尽きない こと と思います。



京都でも収束の見通しはなかなか立たず、不安を抱えた中での新年度のスタートです。
私たちは日夜市当局とのやりとりを続け、子どもたちの少しでも安心して安全な環境を保てるように検討を重ねています。

京都の町、日本全体の環境を考えると、いのちに関わること・生活維持に関わることを除き、経済活動を含め、活動の動きをできる限り停めることが必要……!というのが本心です。

しかしご家庭のご事情、子どもたちの大切な一日いちにちの生活・体験を考え、別のページ「新型コロナウイルス感染症に備えて」のようなことを徹底し、2020(令和2)年度の園生活を始めたいと思います。

この先社会全体の状況に変化があれば、その都度対応し急な休園や、保育日数や時間の短縮などもあり得ますが、万が一そのような場合はどうぞご理解・ご協力下さい。

さあ、2020年度を透明な意識とよろこびあふれる心でつむいでいけるように、もう一度『要覧』の『あそう物語』のしめくりの数行を記しておきたいと思います。

宇宙と人間の破壊的であり、建設的な力を自覚しながら……

観阿弥・世阿弥の思い「衆人愛敬を以て一塵建立の寿福とせり！」にたづなわれ、このことをいつでも心に響かせていきたいと思っています。

今年、子どもたちの生活が始まるのに先立って毎年していた第1回ソフィアの会を開くことができませんでした。大人の意識の共有の時を持たないままでのスタートです。

ですから私たちはそれぞれの場所で、私たちが大切にしようとしている思いや共通の指針にいのちを与えることで、目に見えない子どもたちの育ちの場を共同作業で輝かせ1年を始めようと思います。

どうぞ新しい1年をよろしく願います。

園長 舟光 泰雄